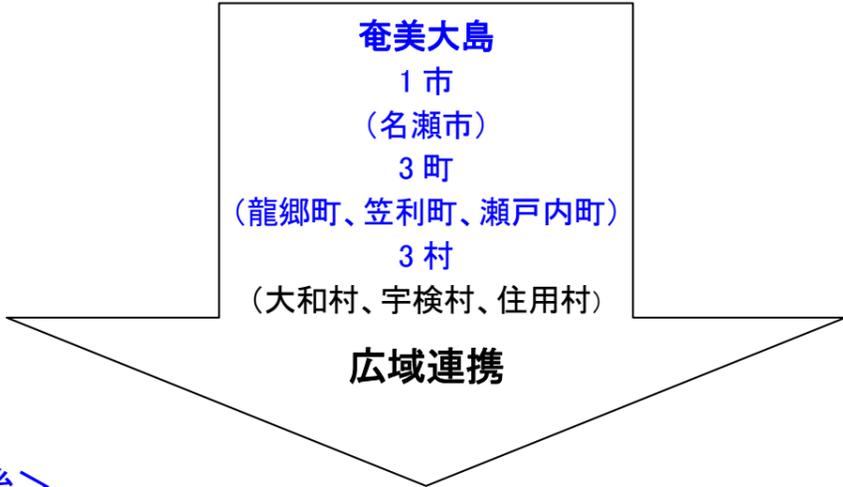


広域連携による輸送体系一元化＋減容化の事例 (鹿児島県 奄美大島1市2町2村)

<支援事業実施前>

状況
 ・各市町村の事業者毎に使用済自動車を鹿児島市へ搬出
 ⇒ 1回の輸送量が少なく、また、大半の使用済自動車が圧縮処理されず、原型(いわゆる丸車)のまま搬出

問題点
 ・海上輸送費がかさんでいた(約5万円/台)



<支援事業実施後>

使用済自動車(発生予定台数:6,400 台/年)を名瀬市内の圧縮処理(破碎前処理)事業者等に集約し、減容化した後、名瀬港より定期船及びチャーター船にて鹿児島市に輸送

改善点及び効果

- ① 集約化
 - ・搬出港を名瀬に集約し、チャーター船で輸送
 - ・申請窓口も名瀬市に一本化し事務処理も効率化
- ② 減容化
 - ・島内業者による減容化の実施

⇒ 大幅な輸送コスト低減の実現

<参考> : 単価比較例(小型車)

原型の場合	49,000円/台
圧縮後の場合	6,000円/台(輸送単価 + 荷役費用) (▲87.8% 低減)

